

ストレスの効用

2014年9月9日

クローバー・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 多根 幹雄

先日、面白いセミナーがありました。NPOの「ニューロクリアティブ研究会」が年に何度かやっているセミナーで、今回のテーマは「ストレス」。ストレスというと病気の原因となる悪いものだと思いがちですが、そういうことばかりではないらしく「ストレスは人生のエッセンス」とまで言う学者もいたそうで、生物にとって不可欠なものようです。

例えば、皆さんが子供のころに行った動物園を思い出してください。どの動物もグターツとして元気なく、いつも寝転んでいませんでしたか？当時、私は狭い所に閉じ込められているので、運動不足でそうなるのだと思っていました。しかし実際は、動物園の中では天敵もいないし、餌も与えてもらえるので、いわゆる「ゆるみっぱなし」の状態が続いたのが、本当の原因だということです。

また、自然界にいるクロコオロギは1000キロも飛んで移動する力を持っているのですが、研究室で20年も人間に飼われていると、全く飛べなくなるそうです。そのコオロギをなんとか再び飛ばそうとチャレンジした高校生たちがいました。彼らはどんなことをしたのでしょうか？まず、餌をほとんど与えない、さらに、ドライヤーの送風で彼らをいじめ通しました。その結果、見事に再び飛べるようになったそうです。

人間のケースでも、定年退職を迎えた人が急にウツになったり、休みの日にごろごろしていると体調が悪くなるのも、ストレスが無くなるのが原因の一つでしょう。秀吉が信長亡きあと、別人のように悪くなっていくのも、「信長」という強烈な「ストレス」が無くなってしまったことと関連がありそうです。もしかしたら、頭の上がらない厳しい上司も、結構あなたを健全に保つのに役立っているのかもしれないね。

考えてみれば、われわれ先祖は、太古の昔からつい最近まで、天敵から身を守ることや飢えの恐怖などのストレスを常に感じながら生きて来ました。だから、われわれのDNAには、それらのストレスをバランスよく受け入れながら、生きて行く手段が備わっているはずです。

ただ、ストレスはもろ刃の剣。ストレスを上手に活かして行くにはどうしたらいいでしょうか？その為には、国や他人に何でも頼ろうとするのではなく、まず「自らの力で何とかしようという強い意志を持つ」こと。そのことが、心地よいストレスを生み、あなたの生命力を高めてくれるのだと思いますが、いかがでしょうか。

8月も運用は引き続き好調で、お陰さまで全てのファンドで月末にかけて最高値を更新しました。また、9月より新しいメンバーが加わりましたのでご紹介します。さわかみ投信立ち上げ当時の主力メンバーで、前ユニオン投信社長の田子慶紀氏です。田子氏を取締役に迎え、さらに強力なチームで皆様の長期の資産づくりに邁進していきたいと思えます。これからもよろしく願いいたします。

セミナーのご案内



ふやす
(中級)

東京

私の「長期投資」列伝 ～波乱万丈を乗り越えて～

【日時】 2014年9月19日(金)18:00～20:00(開場17:30)

【会場】 ポーラ銀座ビル 4Fミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 33名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



澤上 篤人氏



はじめる
(初級)

京都

貯金がない人こそ投資をはじめよう!

【日時】 2014年9月27日(土)13:30～15:30(開場13:00)

【会場】 パリミキ四条烏丸店内
京都市下京区四条通高倉西入立売西町74-1

【費用】 無料(交流会参加の場合は500円)

【定員】 25名

【講師】 澤上 篤人氏 さわかみ投信会長
多根 幹雄 弊社代表



ふやす
(中級)

東京

選択と集中

【日時】 2014年10月3日(金)18:00～20:00(開場17:30)

【会場】 ポーラ銀座ビル 4Fミキシムギンザ内
東京都中央区銀座1-7-7

【費用】 無料(交流会参加の場合は1,000円)

【定員】 33名

【講師】 草刈 貴弘氏 さわかみ投信CIO
多根 幹雄 弊社代表



草刈 貴弘氏

お申込み

クローバー・アセットマネジメント

03-6262-3923

または

gyoumu@clover-am.co.jp

『時 × 空』投資で創る自由な未来

clover
asset management

■当セミナーでは、クローバー・アセットマネジメント株式会社が設定・運用・販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。■投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様へ帰属します。■当セミナーで示された数値、見通し等は、講演会開催時点のものであり、その正確性を保証するものではなく、将来予告なく変更されることがあります。将来の企業業績、市場環境の変化および運用成果等を保証するものではありません。

～家計に身近なファンドでありたい～

浪花おふくろファンド

追加型投信／内外／株式

月次レポート
2014年8月29日基準

ファンド概況

基準価額	14,024円	純資産総額	822百万円
設定日	2008年4月8日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年3月3日		

期間別騰落率(%)

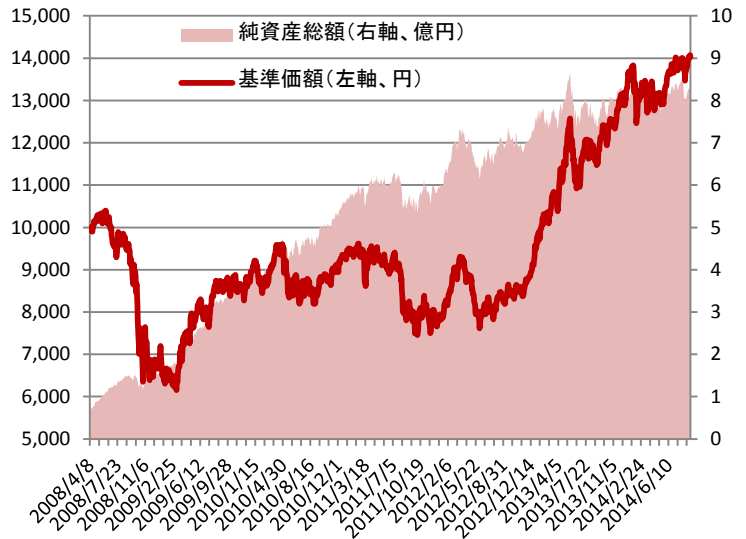
1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
0.13	5.17	5.29	21.88	73.03	40.24

分配金(円)

直近3期を表示

4期 ('12/3/3)	5期 ('13/3/4)	6期 ('14/3/3)	累計
0	0	0	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

米国株式市場は、5月の中旬から上昇トレンドにのっていましたが、株式市場の一服感や地政学的リスク（ウクライナ、イラク等）を懸念した動き、欧州経済の回復スピードがまだまだ緩慢であることなどから、8月に入り一時調整局面を迎えました。しかし、その後、企業収益の堅調さや底堅い経済指標が追い風となり、後半にかけて下げを取り戻し、結局、高値更新となりました。

日本の株式市場も、米株式市場の調整を受け、月初には大きく下落しました。しかし、公的年金資金のリスク志向（外貨志向）報道等が、日本側からの円売り材料となり、ドルが年初来高値を付ける状況の中で、徐々に活気を取り戻し、わずかに前月比マイナスの結果となりました。

おふくろファンドは、月初にハリスグローバルバリュー株ファンドを一部売却し、ひふみ投信を追加購入いたしました。

今月は、ひふみ投信、TMA長期投資ファンドの貢献により、+0.13%という結果になりました。今後は、調整局面では、日本の個別株ファンドに買いを入れてゆく予定です。

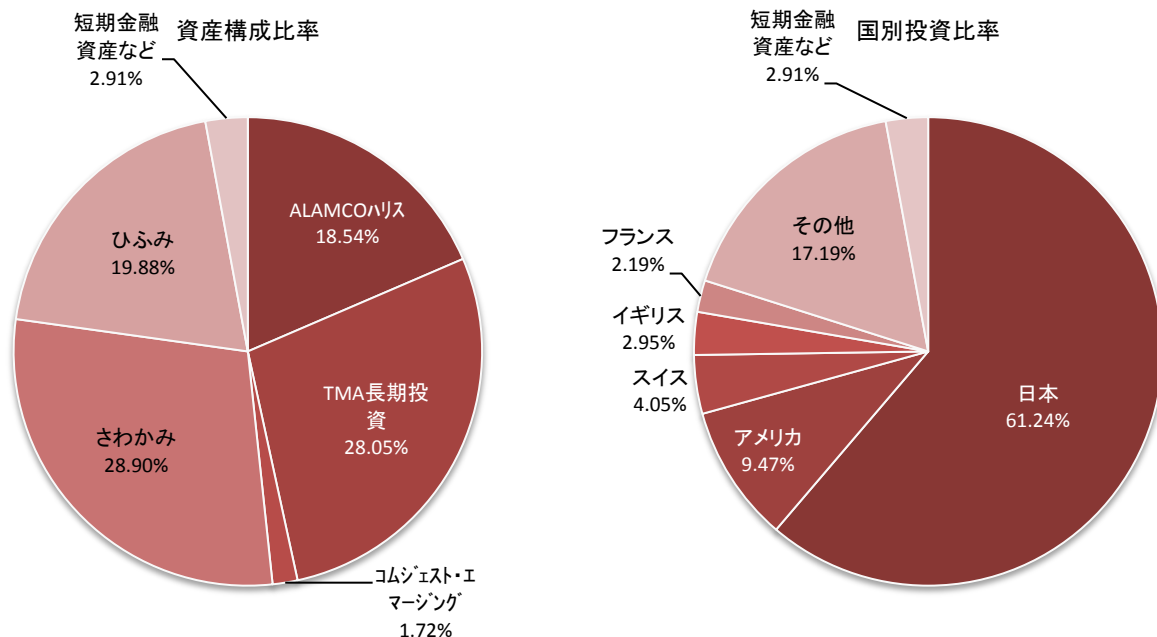
～家計に身近なファンドでありたい～

浪花おふくろファンド

追加型投信／内外／株式

月次レポート
2014年8月29日基準

ポートフォリオの状況



浪花おふくろファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率

(組入れ銘柄数: 327銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	1.49%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	1.26%	さわかみ
3	キーエンス	ファクトリーオートメーション用センサの製造	1.12%	TMA長期投資
4	ミスミグループ本社	機械加工製品の企画・販売	1.09%	TMA長期投資
5	シマノ	バイク、釣具、ボート等を製造	1.04%	TMA長期投資
6	エア・ウォーター	総合ガス企業	0.95%	TMA長期投資
7	リンナイ	給湯、厨房、空調等の各機器を製造	0.93%	TMA長期投資
8	日揮	石油精製・天然ガス処理等のプラント製造	0.90%	TMA長期投資
9	国際石油開発帝石	石油や天然ガスの開発	0.89%	さわかみ
10	花王	洗剤、トイレタリー、化粧品など製造	0.88%	さわかみ



ファンドの特色

①株式投資によって長期的に高い運用成果をめざします

株式は、数ある金融商品の中で最も高い投資成果を上げてきた金融商品の一つです。

株価が上昇してきたのは、主に企業の利益が時間をかけて拡大してきたからです。

つまり、株価が上がってきた企業とは、社会にとって必要な製品・サービスを提供し続けてきた企業である、とも言えます。

長期的には株価は上昇すると予想していますので、株式への投資比率は高めを維持するのが基本です。景気が過熱したり、投資家心理が強気に傾き過ぎたりと、株価の割高感が強まった場合は、その後の株価下落に備えて投資比率を低くし、現金の割合を増やす調整を行います。

②広く世界に投資します

長期的な株価上昇は、企業業績の拡大に沿って進むと考えています。業績が拡大を続ける企業は、もちろん日本にもありますが、世界に数多く存在しています。日本に限らず優れた企業を世界中に広く求めて投資することは、ファンドが成長するチャンスを増やしていくことにつながると考えています。

世界を視野に入れて投資すれば、ひとつの国や地域の株価変動に影響されすぎない、より安定した投資成果を期待することができると考えています。

③「ファンド・オブ・ファンズ」を採用

長期的な株価上昇には、企業利益に継続的な増加が必要だとの観点から、おふくろファンドでは、世界中に存在する優れた企業を選別して投資することを重視しています。

そのためには、世界の株式に単に分散投資するのではなく、優れた企業への選別投資を実行しているファンドに投資することが、最も効果的かつ効率的であると考え、ファンド・オブ・ファンズという仕組みを採用しました。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率0.972%(税抜き0.9%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

業務管理部からのお知らせ

朝夕が凌ぎやすい季節となりました。皆様におかれましてはお変わりございませんか。

【「毎月つみたてサービス」の再開のお手続きについて】

過去に「サービスの中止」のお申込みをされた方、3ヶ月連続で引き落としができず中止となっている方の中で、下記の3つを条件として再開のお申込みをお電話（本人確認有）で承れるよう、お手続きの一部簡素化を図ることといたしました。

※以前は、すべて書面（郵送）でのお申込みをいただいております

- ①中止前と同じファンドであること
- ②中止前と同じ引き落とし口座であること
- ③お申込みの直近の引き落とし日から再開であること（再開月の指定はできません）

【ご登録内容の変更はございませんか？】

投資信託説明書（交付目論見書）を皆さまのもとへ確実にお届けするために、ご住所・電話番号・Eメールアドレス等に変更がないか、いま一度ご確認ください。

投資信託説明書（交付目論見書）以外にも、お取引に関する重要な書類や大切なお知らせもございますので、ご登録内容に変更がございましたら、下記の手順にてお手続きをお願いします。

- ①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。
- ②「登録事項変更届」にご記入のうえ、ご返送ください。
※弊社ご登録印であることをご確認ください。
※新住所が記載された「ご本人様確認書類」（運転免許証の写し・住民票等）をご同封ください。
- ③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を送いたしますので、内容をご確認ください。
なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。
<ホームページの場合>
「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。
<お電話の場合>
「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止・再開締切日	引落日	約定日
平成26年10月	受付終了	9月22日（月）	10月6日（月）	10月17日（金）
平成26年11月	10月1日（水）	10月22日（水）	11月5日（水）	11月17日（月）

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認（氏名、住所、現在の契約内容等）をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部（受付時間：平日9時～17時）

TEL:03-6262-3923 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります）に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。